

第1回 中野市行政改革推進委員会 会議録（概要）

日 時	令和5年5月25日（木）10:00～11:15
会 場	中野市役所5階 会議室52・53
出席者等	<p>【正副会長】 市川会長、平野副会長</p> <p>【委員】 関委員、堀崎委員、岩淵委員、木村委員、小林委員、西野委員、井藤委員、市川委員、竹内委員、清水委員</p> <p>【市】 湯本市長、栗林総務部長</p> <p>【事務局】 阿藤企画財政課長、北村企画財政課長補佐、江澤主事</p> <p>【傍聴者】 1名</p> <p>【報道機関】 北信ローカル、テレビ北信、信濃毎日新聞</p>
欠席者	<p>【委員】 丸山委員</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会（13名中12名出席、過半数の出席者有りのため会議成立） 2 市長あいさつ 3 正副会長互選について 4 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第4次中野市行政改革集中改革プランについて (令和4年度実績報告・令和5年度目標設定) 5 その他 6 閉会
資料	<p>資料1 第4次中野市行政改革集中改革プラン (令和4年度実績報告・令和5年度目標設定)</p> <p>資料2 中野市行政改革推進委員会条例、委員名簿</p> <p>参考資料 中野市行政改革大綱</p>

- 1 開会（総務部長）
- 2 市長あいさつ
- 3 正副会長互選について（仮議長：総務部長）
会長に中野市区長会の市川尚志委員
副会長に「小さな拠点」に係る豊田地域運営協議会の平野正隆委員が互選される。
- 4 協議事項（議長：市川会長）
 - (1) 第4次中野市行政改革集中改革プランについて
(令和4年度実績報告・令和5年度目標設定)

(資料1) 第4次中野市行政改革集中改革プラン（令和4年度実績報告・令和5年度目標設定）について説明。

【委員】

集中改革プラン全体については、概ね順調だと思うが、プラン推進に係る市の組織体制については、ほとんどのプランが主幹課として企画財政課とあるが、具体的に実施していく関係課等の進捗管理を含めた主幹課ということではよろしいでしょうか。また、そうであれば、令和7年度末までに成果を上げることは、プランの項目も多く、大変ではないか。

【事務局】

プラン全体を管理していくのは、企画財政課であります。また、プランの実施については通常業務がある中、なかなか進まず後回しにされがちだが、進捗が悪いプランについては、担当者や担当係長を明確にしたうえで、ヒアリング等を実施し、強く協力を求める場合もあります。そのほかでは、DX推進にあたり、DX推進係が関係各課へ業務効率化に係る様々な提案を実施し、進みが悪ければ更に検討を重ねている。財源などのコスト面では財政係、公共施設や土地の有効活用などでは公共マネジメント推進室、そして全体の進捗管理については政策推進係が、それぞれ連携しプランの推進を図っているところです。

【委員】

- ・前回の会議でもお聞きしたが、情報化社会に伴い、外部からのサイバー攻撃への対応や、マイナンバーカードなどの個人情報を取扱う際のセキュリティについてはどのように対応しているのか。

- ・市でマイナンバーカードの情報が他人と紐づけされているなどの事案はあるのか。また、交付率 100%を目指すのではなく、カードの安全性や利便性を伝える取組みをしていってはどうか。

【事務局】

- ・マイナンバーカードの情報が他人と紐づけされているなどの報告は現在ありません。また、セキュリティに関しては、定期的に各課の事業をピックアップし、情報管理が正確になされているかのチェックを行っております。そのほかでは、外部講師を招き情報セキュリティに関する研修会の実施や、Web 上での研修を行っております。
- ・先ほどの資料説明の際にも申し上げたとおり、「書かない窓口」を早急に運用し、市民の皆さんに利便性を感じてもらえればと考えております。

【委員】

団体事務の見直しについて、新たに「中野市団体事務従事取扱規程」を策定したとのことだが、規程の遵守については、どのようにチェックしていくのか。

【事務局】

「中野市団体事務従事取扱規程」については、ご意見のとおり、いかに遵守されているのかを確認していくことが、今後の課題と認識しております。従来 of 団体事務では事務局を務める限られた職員でしか、会計処理などの事務をしていなかったところを今後は、市財務規則に定められた手続きを行うことで、企画財政課や会計課に必ず書類等が回ることとなったため、関係各課で連携しチェックしてまいりたいと思います。

【委員】

- ・団体事務について、令和 4 年度実績に 11 団体に対し事務移管としたとあるが、どのようなヒアリング内容で事務移管の方針としたのかをお聞きしたい。
- ・全ての団体に対して事務移管とするのではなく、ヒアリング等を実施し、団体の必要性を勘案し、場合によっては、市でそのまま務めていただく認識でよいか。

【事務局】

- ・まずは、「一般社団法人長野県市町村職員年金者連盟中高支部」ですが、市の職務に関係する部分もあるかと思いますが、内部調査において、職員の従事が不相当とし、事務移管としております。次に「中野市消費者の会」ですが、啓発活動や講演

会を実施しており、市の業務に関係している部分もあるため、協力体制を整えたいうえで事務移管としております。「中野市スポーツ少年団」については、市のスポーツ振興の面からも業務に関係しているが、スポーツ少年団の育成については、中野市体育協会の本来業務であり、事務局を務めることはふさわしくないとし、事務移管としております。次に、「なかの街並みウォーキング実行委員会」ですが、市で事務を担っていたが、信州なかの産業観光公社の自主事業として実施していく方針としております。また、「中野市勤労者互助会」では市内中小企業勤労者の福利厚生増進を図ることを目的に、市で事務を務めておりますが、商工会議所と事務移管について検討しているところでございます。

- ・そのとおりでございます。全ての団体に対し、事務移管や外部へお任せするというわけではなく、ヒアリング等を実施し、団体設置に係る根拠法令などを検証し、事務移管できるものは団体へ促すという考えでございます。

【委員】

P23 個別施設計画中の「豊田人権センター」についてですが、今後の方針を移転としているが、同施設は、「子ども食堂」などで利用しており、どこへ、どのように移転する方針なのかをお聞きしたい。

【事務局】

豊田人権センターの業務内容については、既に中野人権センターへ統合することで決定しており、現在はおそらく貸館という形態で運営されております。実際の施設については、老朽化が進んでおり、利用頻度も減少していることから、豊田庁舎での利用を検討しているところでございます。

【委員】

P12 の市民意見の拡大について、先ほど湯本市長からのお話にもありましたが、少子高齢化が進み、若い世代の人口減少が著しいということで、単に若い世代から意見を求めることが目的ではなく、どのように個人の意見を市へ反映させていくかが、重要になってくるのではないかと思います。また意見が出た際に、市ではどのように意見を活用しているのかをお聞きしたい。

【事務局】

それぞれいただいた御意見については、市長まで目をとおり、直ぐに実施できるものと、そうでないものがある中で、スピード感を持って実施すべきものは、現状を把握したうえで、翌年度予算への反映や、実施計画へ反映するなどの対応をしているとこ

ろでございます。

5 閉会（市川会長）

終了 11時15分